

山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問合せください。

研究課題名	進行直腸癌における側方郭清の意義について The benefit of lateral lymph node dissection for low rectal cancer on prognosis and local control by the morphology of metastatic lymph node margin
該当者	1997年から2017年に進行直腸癌に側方郭清の治療を受けられた方
当院の研究責任者	外科 須藤 剛
研究代表者	外科 須藤 剛
本研究の目的	山形県立中央病院において進行直腸癌に側方郭清を施行された患者を対象に、予後や再発などについて臨床病理学的に検討する。
実施予定期間	1997年1月1日～2017年12月31日
研究の方法	この調査では、当院の外来・入院治療において、1997年1月1日～2017年12月31日までの間に、進行直腸癌に側方郭清を施行された方の紙および電子カルテに記載のある診療情報から調査を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、診断、治療経過、合併症
外部への試料・情報の提供・公表	調査研究成果を第60回日本大腸癌治療学会学術集会で公表します。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問合せ先	外科 須藤 剛 023-685-226